

鶴が丘ライフ

Tsurugaoka Life

町内会だよりは鶴が丘ライフになりました

秋号

特集1

制作者に聞く

鶴が丘ドットコム

ホームページ活用について

特集2

いよいよ

買い物サービススタート!
それってどんなサービス!?

表紙写真について

1丁目公園の向かいの遊歩道はいつも季節の花でいっぱい!

実は近所の方がこまめに手入れをされています。本当にありがとうございます!

ホームページ活用について



鶴が丘のあらゆる情報を提供し続けるホームページ「鶴が丘ドットコム」(<http://tsurugaoka.com/>)は2月の公開から約半年が経過しました。ご覧になっている方も多いとは思いますが、今回はホームページについての様々なことを制作者である油井氏に直接お聞きしてみたいと思います。

(阿部会報委員)それでは早速、鶴が丘ドットコムについて制作・運営をしておられる油井さんにお話を伺います。よろしくお願ひします。

(油井)よろしくお願ひします。

(阿部)まずは鶴が丘ドットコム、すなわち鶴が丘のホームページを作ることになった経緯をお聞かせ頂けますでしょうか？

(油井)これは町内会への私の持ち込み企画だったわけなのですが、年々寂しくなってきている鶴が丘に何か活力をもたらす方法がないかと考えて行き着いた方法論がホームページでした。

ホームページに地域のあらゆる情報を集約させ、まずは自分たちの住んでいる地域のことを多くの住民に知ってもらうことから始めようという考えでスタートしています。

(阿部)なるほど。確かに今まで知らなかった地域のことをいろいろ沢山知ることができましたし、今でも情報は日々増えていますね。特に地域のお店のことや、町内会活動のことは映像や数多くの写真で良く解るようになったと思います。

(油井)しかし、まだまだこれから充実させていかなければならない途上にあります。目的は地域の活力アップですが、目に見えて結果が出るのは、もっともっと情報を充実させ、実際に地域とリンクしていったその先にあると思います。例えばホームページを見たことでお店の来客者数が増えたとか、町内会行事・活動への参加者が増えたとかいう効果は徐々に現れてくる可能性はあります。

(阿部)現時点でホームページの実際の反応はどんな感じなのでしょうか？

(油井)公開以来、来訪者のデータを細かく分析しています。それによると現在は平均1日約50人、月間約1500人が見ているというデータになっています。しかし1人の方が繰り返し見る可能性もあるので正確ではありませんが、実際に数百人というレベルの人数が日常的に見ていると考えてもいいと思います。

(阿部)1丁目住民を中心であることを考えると結構な反応ということになりますか？

(油井)まだ目指すところには到底至っておりませんが、徐々に増えていけばいいとは思います。そして団地内はもちろんですが他の地域の方たちにも見てもらえたとも思います。

(阿部)最近始まった「鶴が丘レポート」(写真→)は、とても興味深い企画ですね。WEB番組(ホームページ上で観る番組)としての映像も単純に面白いですが、地域商店活性化という町内会の取り組みとうまくリンクしているようですね。

(油井)そうですね。町内会が目指す住環境の向上には地域商店活性化も大きな課題の一つと考えられています。そして、こうしたいろいろな取り組みがホームページを通じて行政にも知られることになり、地域活性化に動き出した仙台市都市整備局からは話を聞かせて欲しいとのコンタクトがあり、これまでの鶴が丘の



▲ インタビューの様子



▲ 鶴が丘のお店を紹介する
番組「鶴が丘レポート」

現状について説明をしました。そして今後の仙台市としての取り組みのために参考にすることでした。

(阿部) そうなんですか！仙台市も鶴が丘の動きには注目しているんですね。

(油井) そのようです。これからは住環境をソフト面で整備していくことを始めるにあたり、鶴が丘の取り組みに関心を持っていただいたようですね。

(阿部) 鶴が丘の地域活性化に対する取り組みが今後のモデルケースになるかもしれませんね。

(油井) そうなればいいなと思っています。

(阿部) ホームページの今後の展開で注目点はありますか？

(油井) 特別「これ」というものではなく、ホームページが実際の地域活性化につながるよう、道具の1つとして活用できるように、今後も地道に広げていきたいと思います。

(阿部) なるほど。これからにも期待しています。本日はありがとうございました。

いよいよ

特集2

買い物サービススタート! それってどんなサービス!?



▲注文品を買い物する様子

本来は地域通貨のサービスの一つとして提供される予定だった「買い物サービス」が先行してスタートしました。

アンケート結果からサービス希望者で身元が判明している方の訪問調査を実施し、今年度のサービスの提供者を7名に絞った上で提供開始の運びとなりました。サービスは月に2回行われます。今回は開始から2回目となる買い物サービスに同行取材しました。

買い物サービスを実施するのは白百合大学の学生さんたちです。事前に連絡を取ってから当日利用者さんのお宅に訪問し、御用聞きしてお金を預かり、買い物に出発します。買い物を済ませて利用者さんに品物、お釣り、領収書を渡します。利用者さんからは利用料金200円を受け取り、終了です。

今回の利用者さんにお話を伺ったところ、

「歩行困難で重い物は運ぶことができず、このサービスは大変に助かっている。今後もぜひ利用させていただきたい」

とのことでした。

今回サービスを実施した白百合大学 総合福祉学科3年生の石川さんと井龍さんは、「授業では福祉のことを学ぶが、実際に地域の人たちと関わって福祉ボランティアをする機会は今までなかった。このサービスでは年配の方たちとの交流を通じて、まずは信頼関係を築いていきたい。それが結果として自分たちの能力の向上にもなるので今後社会に出た時にそれが生かせるとと思う」とのことです。買い物サービス以外のボランティアにもぜひ参加したいとも言ってください、非常に前向きな姿勢を感じました。また、とても礼儀正しく、好感度の高い学生さんでした。今後のサービスの展開にも非常に期待が高まる、そんな印象を受けました。



▲注文品をお渡しするところ

ズームアップ! この人

9月3日に仙台市社会福祉大会で表彰式があり、1丁目町内会の佐々木あき子さんが感謝状を授与されました。

これは民生委員の下でボランティアとして長年に渡り地域の高齢者の方のお世話をされてこられたことが評価されたものです。

表彰には最低8年以上に渡る功績、地区社協の会長の推薦、などの条件があるそうです。

佐々木さんへお話を伺ったところ、

「9年ぐらい担当の4名の方を月2回訪問し、調子を伺ったりお話し相手になったりしています。1人暮らしの方たちなので何より話し相手になることが大変喜ばれていますが、自分にとっても良い交流となって和みの時間になっています。やっていて良かったと思っています」

とのことでした。

なかなか頂くことのできない名誉なのでここにご紹介させていただきました。
佐々木さん誠におめでとうございました。これからもご活躍頂きたいと思います。



編集後記

従来の会報誌を一新した「鶴が丘ライフ」いかがでしたでしょうか？

会報誌は配られてもあまり見られていない、内容に興味がないといった声を受けて編集方針を全て変更し、デザインからリニューアルいたしました。

今後は町内の皆様の役に立つ情報、ぜひとも知りたい情報を提供し、興味を持って読んで頂ける記事を書いていきたいと思いますのでよろしくお願ひいたします。

尚、従来は町内会活動の報告が主な内容でしたが、現在はホームページ上に行事の翌日～数日中に多数の写真と共に記事が上がるようになっておりますので、ぜひご覧ください。紙面におきましては「委員会だより」をもって活動内容を報告させて頂く形にいたします。

また会報委員では皆様からのご意見、ご感想、ご要望などをお受けして今後の参考にさせて頂きたいと思います。従来通り班長さんを通じて要望書を上げていただくか、ホームページのメールフォーム、または町内会のメールアドレス(mail@1choume.tsurugaoka.com)宛てに、お気軽にお送りください。お待ちしております。

「鶴が丘ライフ」次号は冬号として2月ごろ発行予定です。



「鶴が丘ライフ」は[鶴が丘ドットコム](#)上でカラー版を掲載しております。併せてご覧ください。

鶴が丘ドットコムの検索は

鶴が丘

検索

